

DOセンサー【溶存酸素計】

DO-30

採水測定! 0~20.0mg/ℓ測定



"DOセンサー"とは
DO検出部と表示部を一体化したDO計を"DOセンサー"
DO-30と呼びます。

写真は使用イメージです。

高性能ポーラログラフ電極法

Polarographic 鉛フリーセンサー	カートリッジ式 隔膜ユニット	保守に便利な内極
<p>OX-25M 2ヶ(1ヶは本体装着) 万一の隔膜破損、センサー出力劣化の場合に、電解液と隔膜ユニット交換で迅速にトラブル解消</p>	<p>アノード/カソードに付着した汚れ等は「サツ」と磨くだけ。隔膜交換で新品同様の出力に復帰</p>	



【収納ケース】

アノード、カソード、電解液で構成された酸素電池槽に隔膜を透過した酸素がカソードで還元されて酸素濃度に比例した還元電流が同極間に流れる。この場合、同極間に外部より一定の印加電圧(-0.5~0.8V)をかけて測定する方法がポーラログラフ法で、性質上、電源ONにして表示の安定迄約60秒かかりますが、アノードに銀(Ag)を用いて鉛フリーで、劣化が無く、定期的な保守を実施することで、長期間、且つ、経済的なDO測定が可能です。

概要

本DOセンサー DO-30はセンサー部と計器が一体化された、ケーブルレス"DO計"でケーブル断線等のトラブルが無く、試料を採水して迅速にDO測定ができます。

又、センサーは鉛フリーポーラログラフ電極で隔膜ユニットと電解液を交換することで簡単に電極のメンテナンスができます。

隔膜交換の目安は約1ヶ/年程度で優れたポーラログラフ電極です。

⚠️ 隔膜破損等の使用条件により交換頻度は異なります。

DO-30の操作手順

POWER ON → ス/℃校正 → DO測定 (DOモード) → 測定項目選択

LCD表示チェック 各種自己診断

センサー部を空気に置いてCALスイッチを押す・カソード・アノード→10秒程度で空気が完了

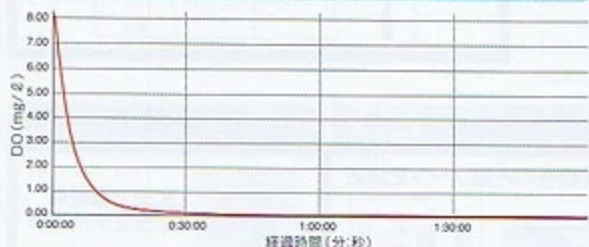
試料水にセンサーを置いて軽く洗浄し、表面の空気を拭き取る

DO→DO→水温→DO→の順に切り替わります。

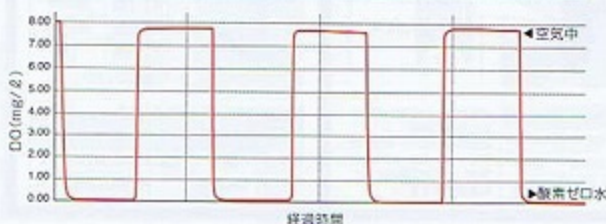
MODEスイッチを押す

BIAT CAL ERR %
19.4 9.4 9.4 9.4 21.0
20.0 9.4

応答性 空気中から酸素ゼロ水にDOセンサーを入れる



再現性 空気中→酸素ゼロ水→空気中の順にDOセンサーをセット



仕様

品名	計器部一体型"DOセンサー"
型式	DO-30 (ポーラログラフ電極法:標準)
測定方式	採水/センサー部浸漬測定
表示	3桁LCD表示 (又は3・1/2桁:ご指定)
測定範囲	溶存酸素 (DO) :0.0~20.0mg/ℓ (ご指定:20.00mg/ℓ) 気中酸素 (O ₂) :0.0~30.0% 水温 (TEMP) :0.0~50.0℃
分解能	溶存酸素 (DO) :0.1mg/ℓ (ご指定:0.01mg/ℓ) 気中酸素 (O ₂) :0.1% 水温 (TEMP) :0.1℃
校正	空気校正
繰り返し性	溶存酸素 (DO) :±0.2mg/ℓ以内 気中酸素 (O ₂) :±0.2%以内 水温 (TEMP) :±0.2℃以内
塩分補正	淡水/海水切換機能
温度補償	自動
周囲温度	0~45℃
保護構造	計器部:防塵、防水構造 (IP65相当)
電源電圧	アルカリ乾電池 LR-1 (単5) ×4ヶ (6V) オートパワーオフ機能 (電源ON→30分後)
外形寸法	48×32×301.5
重量	約300g

DO検出部仕様

測定原理	ポーラログラフ法
型式	OX-2P-30 (ポーラログラフ電極法:標準)
隔膜ユニット	カートリッジ式隔膜ユニット (約1ヶ/年交換、使用条件で異なります)
検出器条件	水 温:0~40℃ 共存成分:有機溶剤共存不可 流 速:隔膜表面で流速10cm/SEC以上
電極材質	カソード:金、アノード:銀 (鉛フリー)
標準構成	DO-30 (乾電池付)、隔膜ユニット:OX-25M 2ヶ (1ヶは本体に装着) 電解液:10mℓ、ワイピングクロス:2枚、 酸素ゼロ剤 (亜硫酸ナトリウム):20g、収納ケース、専用測定器付

⚠️ DO測定時にDOセンサーの隔膜表面で一定以上の流速が必要ですのでDOセンサーを軽く握って流速を奪えながら測定して下さい。